

『平城貝塚の国史跡指定とその先を目指して』

2022.10.2 (日)

100人が参加したこのシンポジウムでは、平城貝塚縄文人の復元衣装をまとった生涯学習課松本補佐が平城貝塚の魅力を紹介した後、同志社大学の水ノ江和同教授から平城貝塚は国指定史跡にふさわしい価値をもっていること、愛媛大学の村上恭通教授からは平城貝塚が国指定史跡となった先には地域や町の活性化につながっていく可能性について講演が行われました。

その後の座談会では、「平城式土器」をクッキーにアレンジした地域おこし協力隊根隊員の取り組みの紹介、平城貝塚の保護とその活用で地域や町に元気が戻ってくるのではないかと願う町民からの発言があったほか、コーディネーターを務めた瀬戸内海考古学研究副代表の谷若倫郎さんから平城貝塚の価値の再確認と国史跡指定後の平城貝塚の可能性について分かりやすく解説を受けながら意見が交わされました。

来場者からは、「平城貝塚は、愛南町と日本にとってとても貴重な遺跡であることを知ることができ嬉しかった」「平城貝塚のことを知らない町民も多いと思うので、平城貝塚の価値についてもっと広めて欲しい」という意見が聞かれました。



◀第5次発掘調査時に標本として保存された貝塚の土壌堆積(貝層)。数少ない西日本の貝塚の中でこのような標本は希少な資料とされている。



▲千葉豊准教授 ▼高野紗奈江さん



9月中旬には京都大学の千葉豊准教授と高野紗奈江さんが土器の調査を行い、平城貝塚から出土した土器の個性を再確認しました。

千葉准教授は令和3年3月に町が過去の発掘調査をまとめた総括報告書に記載されている土器と保管されている土器を照合。平城貝塚から発掘された『平城式土器』と称される土器には特徴的な文様が施されており、「時代や時期と共に変化する文様と土器の形を合わせて詳しく調査することで、平城貝塚と周辺地域との交流など数多くの情報を得ることができると語りました。

また、高野さんは土器の表面に付けられた縄文から縄のより合わせ方とその回数の違いなどを調査しました。「土器製作は女性を中心であったとされており、同じ特徴を持つ土器が他の地域で発見された時、地域間の文化交流だけでなく婚姻関係も考えられます。煮炊きするための道具にこれほど凝った装飾を施すのは、土器が自分たちの文化や存在を表現するためのツールだったのかもしれない」と地中に眠っていた過去の遺物に対するさまざまな可能性や面白さを伝えてくれました。

9/21 ありがとうの気持ちをハガキに込めて 「ゆうびんの時間」出前授業を開催



愛媛
CATV
動画



▲橋本局長から授業を受ける児童たち

福浦小学校で、「ゆうびんの時間」の出前授業が行われました。この授業は郵便局による地域貢献事業で、地域住民へ郵便業務を身近に感じてもらうことを目的に開催されたものです。

授業では梶原一志御荘郵便局長と橋本章弘福浦郵便局長から、郵便に関する雑学をクイズ形式で学んだ後、児童は家族や友達、お世話になった先生方への思いをハガキに書き記しました。低学年の児童は、宛名を大きく書いたり絵を枠内に描いたりすることに苦戦している様子でしたが、6年生の児童は、「この授業で得たことを生かして大切な人にどんどん手紙を送りたい」と感想を述べました。

9/30 10月10日から稼働を開始 「愛南漁協西海市場水揚荷捌施設」竣工式



愛媛
CATV
動画



▲施設の新たな門出を祝して関係者らが竣工式に出席

昨年11月から建て替え工事が行われていた愛南漁協西海市場水揚荷捌施設の工事が完了し、竣工式が行われました。

旧施設は長年の稼働による経年劣化・老朽化が著しかったことから施設の建て替えが決定し、工事が進められてきました。

大中小の水槽が計13基設置された新施設は冷蔵庫、貯氷庫、生産者控室が完備されたほか、海水を地下から汲み上げる仕様としたことで水質が向上し、より良い状態で魚を出荷することができるようになりました。

竣工式で立花弘樹組合長は、「この施設が地域の皆さまや組合員のより所となり、地域の活性化につながるよう組合として全力を尽くしていきたい」と述べました。

10/12 行政に関する出来事のお悩み相談 特設行政なんでも相談所



▲各地域の行政相談委員の皆さん

総務省が定める行政相談週間に合わせて、城の辺学習館に特設行政なんでも相談所を開設しました。

また、町内5カ所で毎月1回、第2水曜日に行政なんでも相談所を開設し、相談対応を行っています。

行政に関する困りごとや要望について、行政相談委員が親身になって相談に応じます。相談は無料で秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

行政相談委員を務める黒澤民彦さんは、「行政のことで何か気になることがあれば、お気軽にお越しください」と話しました。



愛媛
CATV
動画

10/15 心地よい風と虫の音
秋の声を感じながら夕暮れコンサートを開催



▲卒部を前にした3年生6人とともに観客を魅了する演奏を披露

一本松中学校音楽部による第14回夕暮れコンサートが開催され、校庭の屋外ステージには多くの人が訪れました。

このコンサートは、卒部を迎える3年生の区切りのステージであり、保護者や地域の方々へ感謝の思いや日頃の練習の成果を披露する演奏会として毎年行われています。

観客たちは10人の部員が奏でるアニメ主題歌や歌謡曲、ジャズの軽快なリズムに手拍子を送り、木管四重奏や混合五重奏・四重奏の美しい音色に魅了されました。1時間のコンサートは、8月に行われた全日本吹奏楽コンクール愛媛県大会中学B部門出場曲の「明日へ吹く風」で幕を下ろしました。

10/16 特殊詐欺防止～心得三箇条～
四国4県警察がお遍路さんへ呼び掛け



▲当て紙とパンフレットで参拝者への呼び掛けを行う

特殊詐欺被害防止の啓発活動として、40番札所観自在寺を訪れた参拝者へ当て紙の配布が行われました。

当て紙とは参拝者が納経帳に朱印を押してもらった後、裏写りを防ぐために利用している紙で、『STOP特殊詐欺 四国88プロジェクト』と題されたこのプロジェクトでは四国4県警がアイデアを盛り込み、特殊詐欺被害防止の啓発文などが描かれた当て紙を作成。四国八十八カ所霊場の協力を得て特殊詐欺被害防止を呼びかけました。

この日は愛南警察署員も参拝者たちへ詐欺被害防止のパンフレットを手渡し、還付金詐欺や架空請求詐欺などの特殊詐欺被害に遭わないように呼びかけを行いました。

10/29 親子で木のぬくもりを感じて
第36回木とのふれあい教室「親子手作り木工広場」



▲親子で協力して木工を楽しむ参加者

南レク御荘公園多目的広場で、第36回木とのふれあい教室「親子手作り木工広場」が開催されました。

南宇和地区林材業振興会議が主催する親子手作り木工広場は、木工を通じて木材に触れることで木の良さを体感し、地域に産する木材への親しみを親子で共感しながら深めてもらうことで、将来的に県産材の需要拡大や地域林業の活性化に繋げることを目的として開催されています。

親子で思い思いの作品を作り上げた参加者たちは、「木材の加工は難しい部分もあったが、手作りの作品を親子で制作できたのでいい思い出になった」、「木の良い香りがして癒された」などと感想を話しました。

10/25 御荘中学校3年生作成職場体験学習特別企画 ～職場体験を通して～働くことと向き合おう

10月25日(火)～28日(金)まで、御荘中学校3年生の生徒2人が職場体験学習として愛南町役場を訪れ、業務を通して働き方や社会のルールを学びました。

|| DAY.01 認知症サポーター養成講座・認知症カフェサポート、町長インタビュー、防災行政無線放送録音作業

|| DAY.02 選挙準備物整理、広報あいなん仕分け作業

|| DAY.03 柑橘普及促進事業、広報あいなん原稿作成作業

|| DAY.04 広報あいなん配布作業、郵便発送業務

住民の方々に情報が正しく伝わるように『ゆっくり、間をおいて話す』などの工夫をしました。この仕事をしたことで普段何気なく聞いている放送の難しさを知りました。【防災行政無線放送録音作業】

町が生産量日本一である河内晩柑かわちばんかんを使ってスムージーを作り、町外の方へアピールしました。甘みと酸味のバランスのとれた味の良さを上手く伝えることができませでしたが、河内晩柑の良さを再認識できる機会となりました。【柑橘普及促進事業】

認知症カフェ「ロバさん家」を訪問し、お年寄りの方々とおしゃべりやボーリングをして楽しみました。外に出る機会が少なくなってくるお年寄りにとって、「ロバさん家」が色々な人と交流し、楽しめる場になっていることを体感しました。【認知症カフェサポート】

出来上がったばかりの広報を仕分けして、町内の行政協力員さんの元へ届けました。町民の方と接する時には、気持ちの良いあいさつなど当たり前のことが一番大切なことに気付きました。【広報あいなん配布作業】



この記事は、御荘中学校の2人に原稿を書いていたいただき制作しました。

この4日間を通して、役場でしかできない貴重な体験をさせていただきました。町民の方と直接接する仕事の他にも地道な裏方作業もあり、それぞれの課で仕事内容は違いますが、町のため町民のために働いているという事は同じだと気付きました。この経験をこれからの学校生活にも生かしていきたいと思ひます。

11/1

『愛潔日本一』と歩んだ24カ月の集大成 第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会の結果を報告



▲左から 池田一成さん、弥法さん、山口千里さん
清水雅文町長

10月6日(木)～10日(月)にかけて鹿児島県で開催された「第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会」で、池田牧場の『愛潔日本一』が愛媛県代表として出品され、優等賞24席の成績を収めました。

『愛潔日本一』との全共出場を経て、池田一成^{かずなり}さんは「正解が分からない中で挑戦し続けた24カ月は不安な部分もあったが、立派なお肉になった愛潔日本一を見て自信につながり感謝の気持ちが込み上げてきた」と大会と受賞の感想を述べました。また、「すでに5年後の大会を見据えて池田牧場は始動しています。愛潔日本一から教えてもらったことはたくさんあり、その全てを注ぎ込めるようしっかりと準備を進めていきたい」と次回大会への意欲と自信を見せました。

地域おこし協力隊 活動日記

愛南暮らしを楽しんじよる

愛南生活5カ月目、地域おこし協力隊員の柳田亮介^{りょうすけ}です。

業務内外でいろいろな活動に参加させていただき、また、その模様がCATVや広報でも取り上げられていて、地域の皆さんとのつながりがどんどん出来てきていることを実感する感謝感謝の日々を送っています。

地域おこし協力隊員という立場をいただいたことで、業務を通じて役場や水産関係の方々をはじめ沢山の地元の方々とお話する機会があります。これは本当にありがたいことで、少しずつ「なんぐんアクセント」が身についてきちよるような気がします。言葉のイントネーションが中予とはだいぶ違うのですが、最近は松山の友人と話す時にもイントネーションが変わったね、と言われることが増えました。

そうそう、愛南町民の代表といえば「なーしくん」ですが、つい最近まで実際に「なーし」を使



う人に出会っていなかったんです。ですから、松山で言うところの「ぞな、もし」みないなもので、今は誰も使っていない方言なのだろうと思っていました。しかしついには「なーしの使い手」に出会うことができました。初めて聞いた「なーし」は、まさに愛南の皆さんの穏やかで温かな人間性を表している、素敵な響きでした。私が使ったら違和感あるかなーし？

おっと協力隊員の活動とは関係ない話になってしまいましたね(笑)。次回は、愛南町が取り組む「ぎょしょく教育」について書こうと思うちょるけん、お楽しみに。

祝

美しい篠川を守りたい
木下そらさんが国土交通大臣賞を受賞



第44回全日本中学生水の作文コンクールで篠山中学校2年生の木下そらさんが国土交通大臣賞を受賞し、10月5日(水)に賞状伝達式が行われました。

篠川の環境問題をテーマにつづられた作品は、愛媛県77作品の中から1位に選ばれ、愛媛県知事賞および国土交通大臣賞の受賞となりました。

作品には、美しい篠川にも家庭生活排水が流されていることを環境学習会で学んだ全校生徒たちが廃油石けんの制作・販売を通して美しい篠

川を自分たちの手で守っていこうという活動が書き表されており、地域の人たちと共に問題に取り組んでいる様子が目に浮かぶと評価され今回の受賞につながりました。

受賞にあたり木下さんは、「小学生のころから遊んでいる大切な川にも米のとぎ汁や油などの家庭生活排水が流されていることを知りました。きれいな川を守るため、上流にいる私たちができることを考え行動したことをつづり、去年よりいい賞を貰えたことがうれしいです」と喜びを話しました。

祝

篠山ジュニアソフトテニスクラブ
立て続けに大健闘!今後の活躍にも期待



愛媛
CATV
動画

【愛媛県県下団体対抗戦ソフトテニス大会】

【四国小学生学年別ソフトテニス大会】



小学生の部:3位



5年生女子の部:3位

【西日本小学生ソフトテニス選手権大会】



女子個人戦:9位(ベスト16)



3年生以下男女の部:優勝

木下・岡崎ペアは、1月7・8日に仙台市で開催される全日本小学生東西対抗ソフトテニス大会出場への切符を手に入れました。篠山ジュニアソフトテニスクラブからは昨年出場した中山・山崎ペアに続いて2年連続での出場となり、大会での活躍に大きな期待が寄せられています。